



2008年3月期 第1四半期 業績概要

2007年7月26日

アンリツ株式会社
社長 戸田 博道

東証第1部:6754
(<http://www.anritsu.co.jp/j/ir>)

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的
事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を
含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関
する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能
性」やその類義語を用いたもの限定されるものではありません。実際の業績は、
さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お
きください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、
米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向
や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが
引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなど
です。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、
法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、
将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

- 当社の事業セグメントの呼称と事業内容
- サマリー
- 2008年3月期第1四半期業績概要
- 2008年3月期中間期、通期の見通し

当社の事業セグメントの呼称と事業内容

1

| セグメント | サブセグメント | 事業内容 | 担当事業部の 主な所在国 |
|-------|--------------|--|-----------------|
| 計測器 | ワイヤレス | 携帯電話端末開発・製造・保守用テスト、無線インフラ敷設・保守用テストなど | 日本・米国・英国 |
| | 汎用 | 無線設備、電子部品等の開発・製造用汎用テストなど | 日本・米国・英国 |
| | 光・デジタル・IP | 光・デジタル・IP通信機器の開発・製造用テスト、およびネットワーク評価・保守用テストなど | 日本・米国・フランス |
| | サービス・アシュアランス | 携帯電話ネットワークなどのモニタリングとサービス品質保証用ソフトウェアなど | デンマーク・イタリア |
| 情報通信 | | 映像配信機器、通信機器、IPスイッチとその応用システムなど | 日本 |
| 産業機械 | | 食品・薬品・化粧品用重量選別機、異物検出機など | 日本 |
| その他 | | 印刷はんだ検査機、光デバイスなど | 日本 |

1. 第1四半期業績(連結)

計画通りの業績

計測器の受注が堅調

受注高: 248億円(対前年同期比+7%)

売上高: 205億円(対前年同期比+6%)

営業利益: △9億円(対前年同期比 △6億円)

経常利益: △12億円(対前年同期比 △0億円)

2. 中間期・通期見通し(連結)

前回から変更なし

| | (中間期) | (通期) |
|-------|-------|---------|
| 売上高: | 475億円 | 1,035億円 |
| 営業利益: | 13億円 | 70億円 |

第1四半期業績概要(連結)



計画通りの進捗

(単位:億円 四捨五入)

| | 前第1四半期 (4-6月)実績 | 当第1四半期 (4-6月)実績 | 前年同期比 増減額 | 前年同期比 増減率(%) |
|-------------|--------------------|--------------------|--------------|-----------------|
| 売上高 | 193 | 205 | 12 | 6% |
| 営業利益 | △ 3 | △ 9 | △ 6 | - |
| 経常利益 | △ 11 | △ 12 | △ 0.2 | - |
| 税引前当期純利益 | △ 11 | △ 12 | △ 0.2 | - |
| 当期純利益 | △ 17 | △ 19 | △ 1 | - |
| フリーキャッシュフロー | 29 | △ 1 | △ 30 | - |

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別売上高・営業利益(連結)



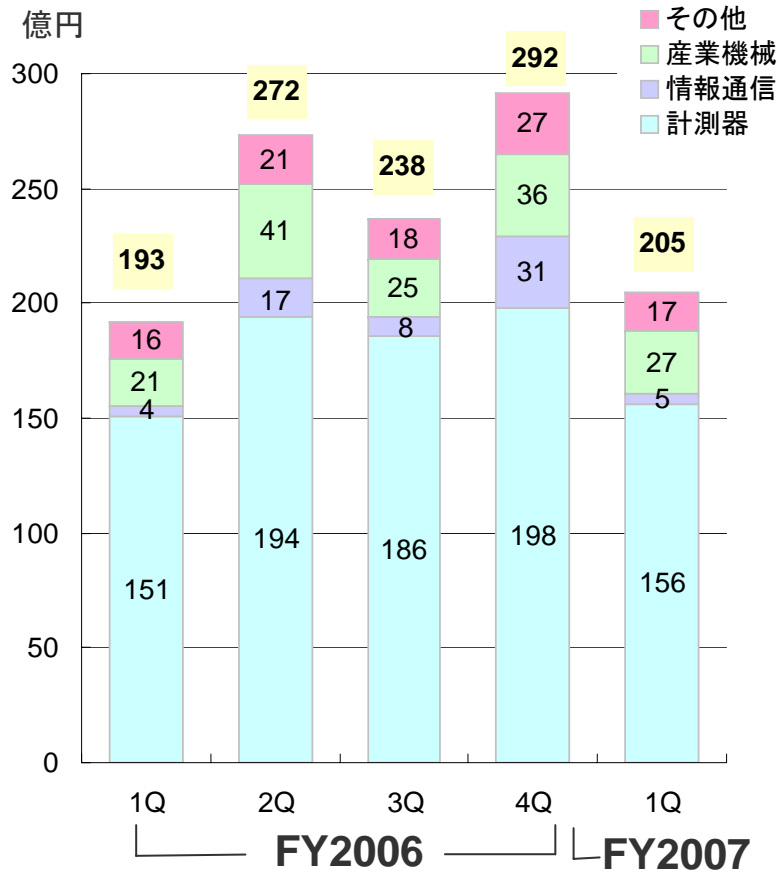
計測器の売上は海外を中心に堅調
産業機械は、食品検査機器の好調により伸長

(単位:億円 四捨五入)

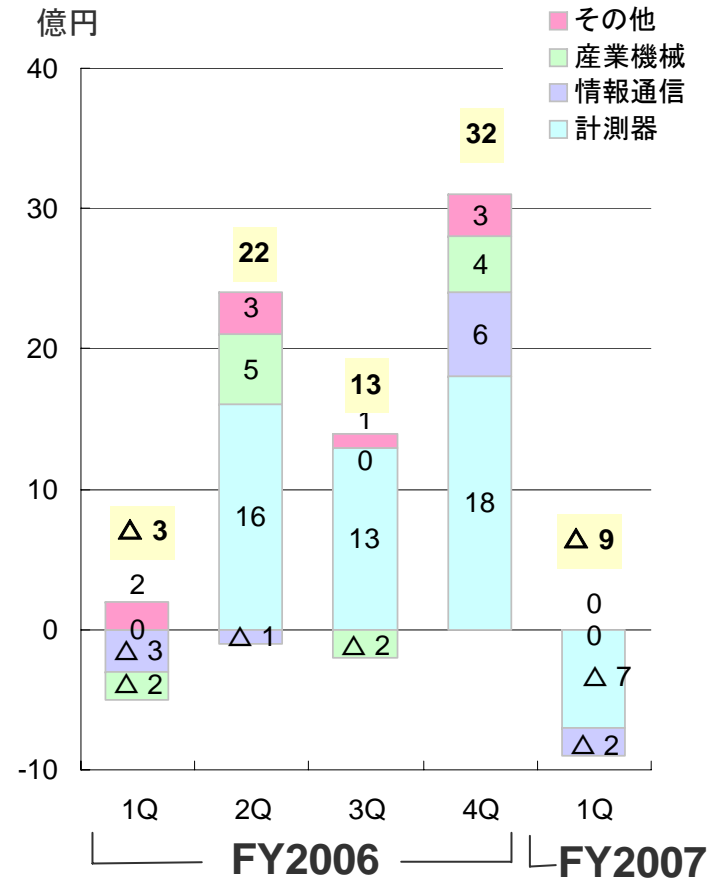
| | | 前第1四半期 (4-6月)実績 | 当第1四半期 (4-6月)実績 | 前年同期比 増減額 | 前期比 増減率(%) |
|------|------|--------------------|--------------------|--------------|---------------|
| 計測器 | 売上高 | 151 | 156 | 6 | 4% |
| | 営業利益 | △ 0 | △ 7 | △ 6 | - |
| 情報通信 | 売上高 | 4 | 5 | 0 | 4% |
| | 営業利益 | △ 3 | △ 2 | 1 | - |
| 産業機械 | 売上高 | 21 | 27 | 5 | 25% |
| | 営業利益 | △ 2 | 0 | 2 | - |
| その他 | 売上高 | 16 | 17 | 1 | 7% |
| | 営業利益 | 2 | △ 0 | △ 2 | - |

(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別売上高・営業損益推移(連結)



連結売上高



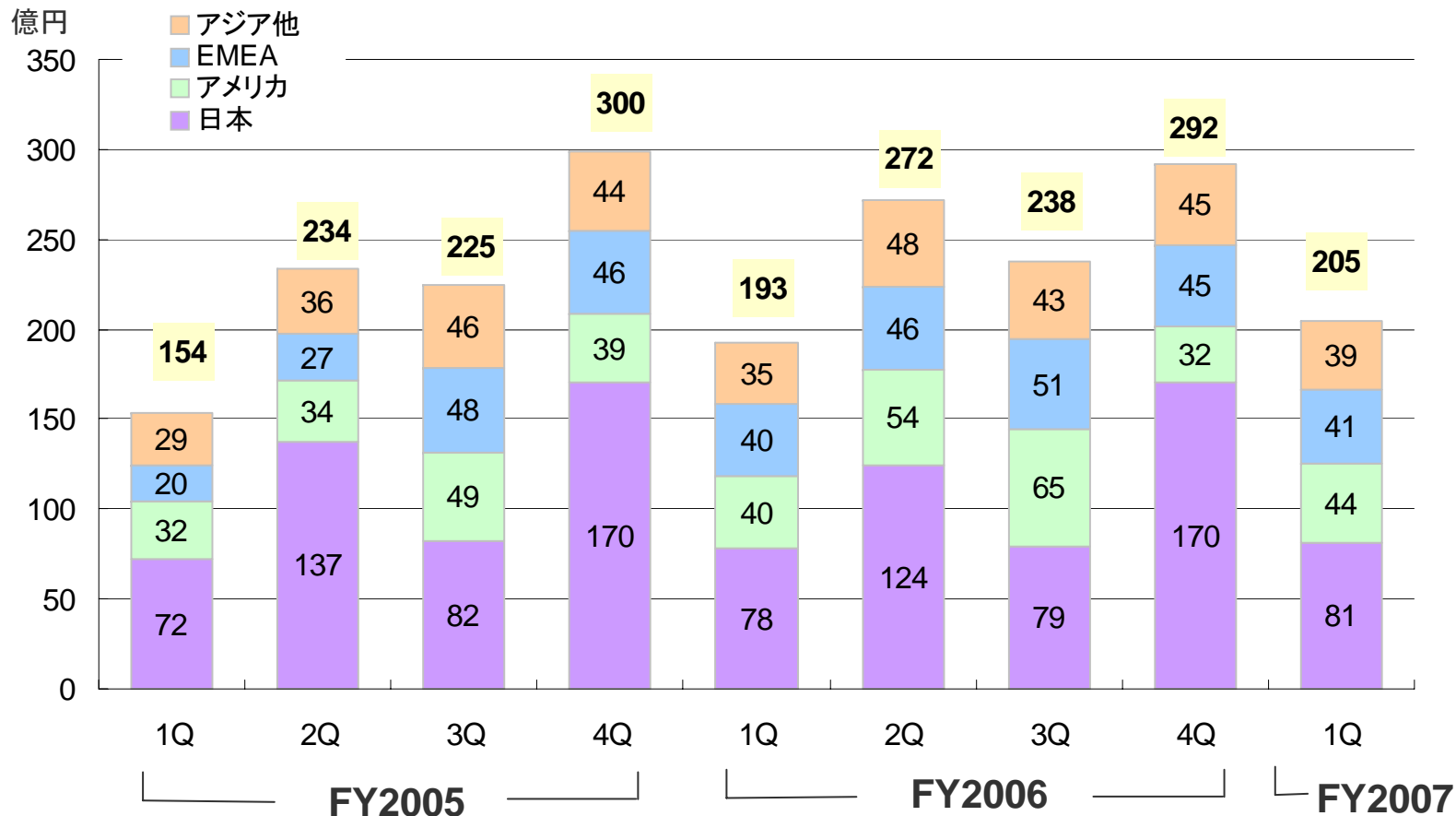
連結営業利益

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

地域別売上高推移(連結)



全地域で前年同期を上回る。特に米州、アジアが好調。

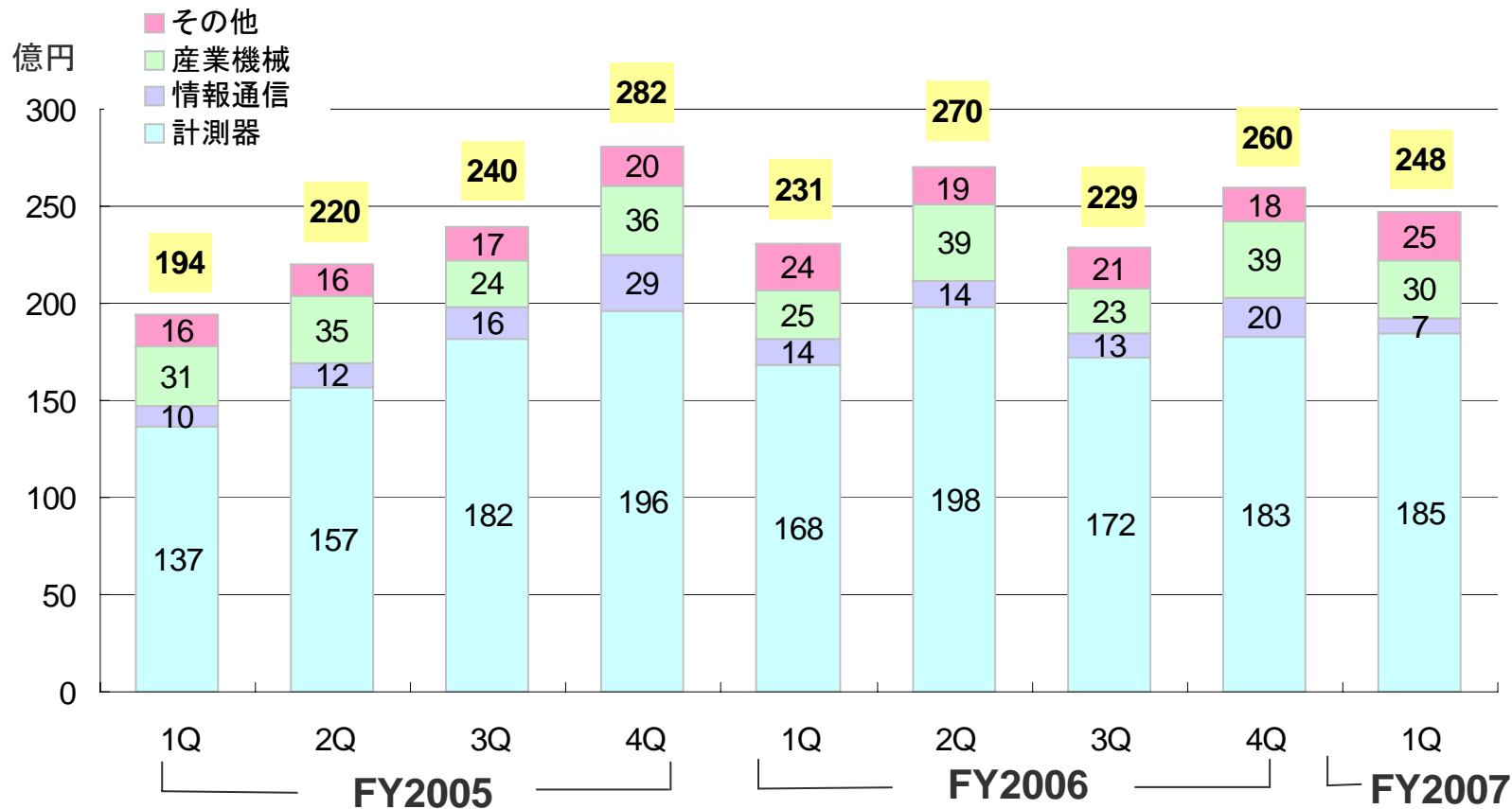


注1) 2006年度から「ヨーロッパ」を「EMEA」(欧州・中近東・アフリカ)に変更。過去のデータはすべて現在の定義に修正済み。
 注2) 値はそれぞれの欄で四捨五入

事業別受注推移(連結)



計測器の受注が堅調(前年同期比増加)



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

営業外・特別損益概要(連結)

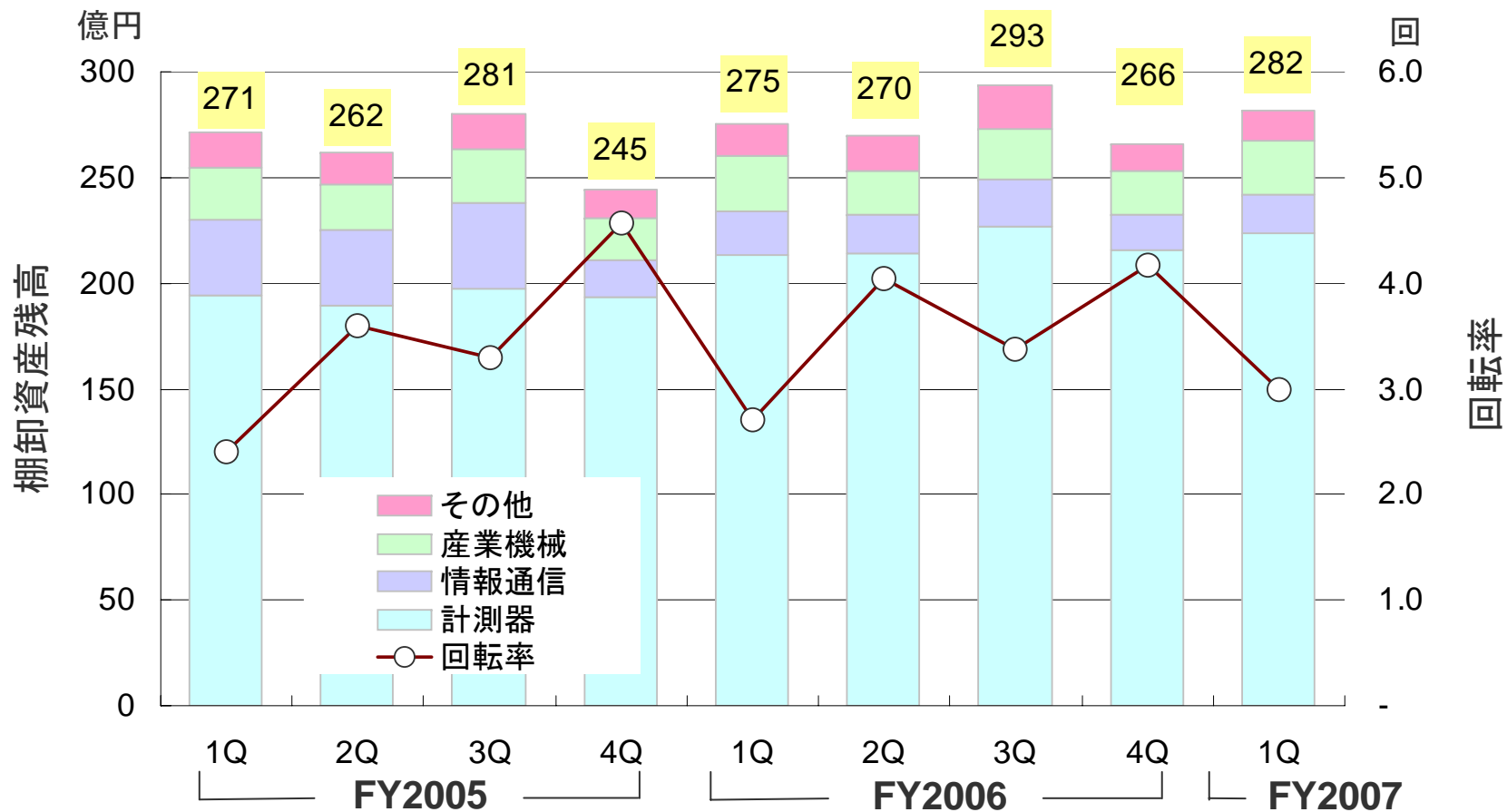


金融収支、為替差損益が、前年同期より改善。

単位:百万円 切捨表示

| | | 前第1四半期 (4-6月)実績 | 当第1四半期 (4-6月)実績 |
|---------------|----------|--------------------|--------------------|
| 営業利益 | | △ 330 | △ 939 |
| | 金融収支 | △ 294 | △ 130 |
| | 棚卸資産評価損等 | △ 58 | △ 303 |
| | 為替差損益 | △ 336 | 157 |
| | その他 | △ 116 | 64 |
| 営業外損益計 | | △ 804 | △ 212 |
| 経常利益 | | △ 1,133 | △ 1,151 |
| 特別損益計 | | 0 | 0 |
| 税引前利益 | | △ 1,133 | △ 1,151 |

棚卸資産残高推移(連結)



(注1) 回転率 = 四半期売上高 × 4 / 四半期単位平均棚卸資産 (注2) 値はそれぞれの欄で四捨五入

キャッシュフロー概要(連結)



当第1四半期

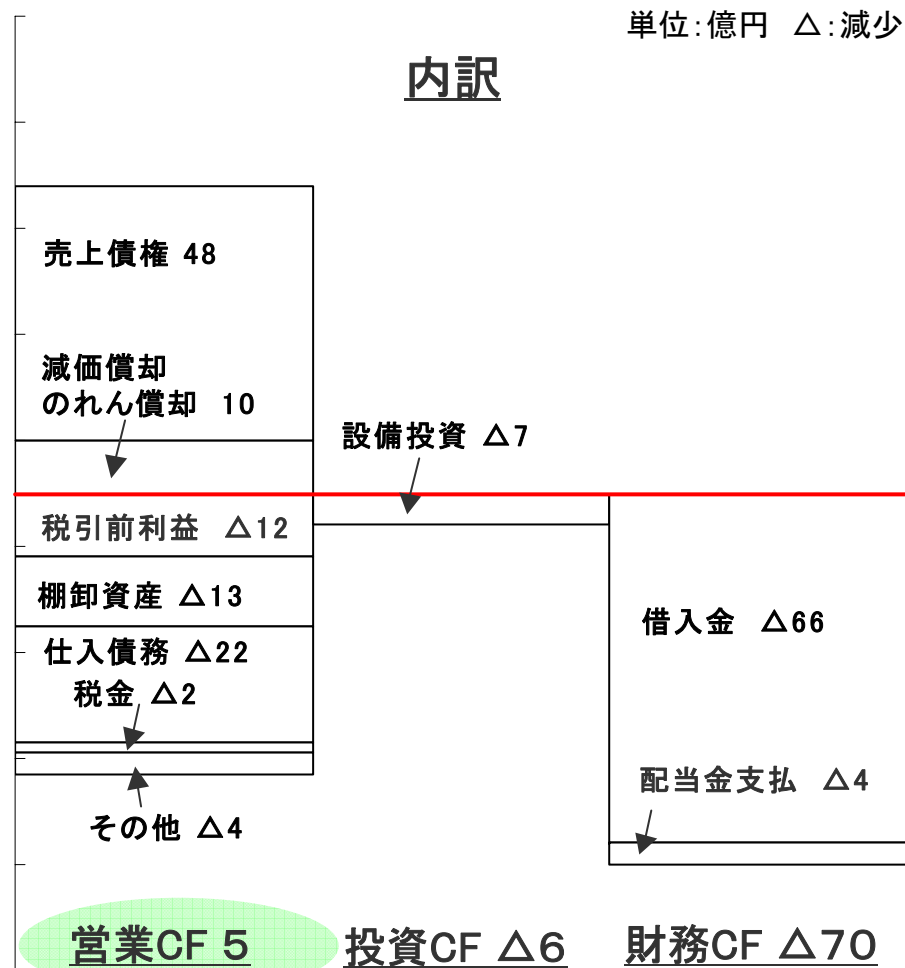
- ①営業CF: 5億円
- ②投資CF: △6億円
- ③財務CF: △70億円

フリーキャッシュフロー

(①+②): △1億円

現金及び現金同等物の 期末残高

131億円



(注)値はそれぞれの欄で四捨五入

2008年3月期 中間期、通期の見通し(連結)

単位:億円

| | | 中間期 | | 通期 | |
|-------|------|----------|----------|----------|----------|
| | | FY2006実績 | FY2007予想 | FY2006実績 | FY2007予想 |
| 売上高 | | 465 | 475 | 994 | 1,035 |
| 営業利益 | | 19 | 13 | 64 | 70 |
| 経常利益 | | 3 | 3 | 32 | 40 |
| 当期純利益 | | △ 4 | △ 4 | 14 | 25 |
| 計測器 | 売上高 | 344 | 360 | 729 | 765 |
| | 営業利益 | 16 | 10 | 47 | 53 |
| 情報通信 | 売上高 | 21 | 20 | 60 | 65 |
| | 営業利益 | △ 5 | △ 4 | 1 | 1 |
| 産業機械 | 売上高 | 62 | 65 | 123 | 125 |
| | 営業利益 | 3 | 4 | 6 | 7 |
| その他 | 売上高 | 38 | 30 | 83 | 80 |
| | 営業利益 | 5 | 3 | 9 | 9 |

配当: 1株当たり年間7円(うち中間配当3.5円)を予定

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入